

在宅医療支援システム研究会次第

日時 令和8年2月24日（火）

18時30分～

場所 介護老人保健施設くろかみ 研修室

1 開 会

2 あいさつ

3 報告、情報提供

① 「あいうべ体操のポスター」配布の紹介(高齢者支援課)

② 「ピオーラカフェ」(3/25)開催案内(社会福祉協議会)

③ 「夏のボランティア体験事業」の報告(社会福祉協議会)

④ 「情報連携ツール MCS の企画委員会」の進捗状況

4 協議事項

次回開催日

令和8年 3月 31日（火）

ホッとひと息 気持ちがちよっと軽くなる

認知症の方や地域の方、どなたでも参加できます

奇数月の
第4水曜日
定期開催!

ピオーラカフェ

とき

令和8年 3月25日(水)

13:30 ~ 15:30

ところ

新見市地域福祉センター
(新見市金谷640-1)

次回は
5月27日
開催予定!

第28回の内容は

講話

認知症とともに生きる

～新しい認知症観を知ろう～

新見市在宅医療・介護連携支援センター

難波 美保子 氏

* 参加費は200円
(お茶菓子代 ☕)

* 地域の方や介護・福祉の
専門職が参加しています。

* ご家族やご友人、ご近所
さんをお誘いください!

体操

椅子に座ってリフレッシュ!

三村 幸子 介護予防指導士

まなべる

つながる

たのしめる



問い合わせ先

新見市社会福祉協議会 ☎72-7306

ホームページ

Facebook

Instagram



新見市社協では、FacebookやInstagramで情報を発信しています!
ぜひフォローと「いいね」をお願いします(^^)

2025夏ボラ新聞

— 発 行 者 —
社会福祉法人
新見市社会福祉協議会

新見市社会福祉協議会では、中高生の皆さんにボランティアの機会を提供し、社会福祉への理解を深めるとともに、さまざまな出会いの中から新しい発見や「共に生きていく」視点について考える機会として「夏のボランティア体験（夏ボラ）」を毎年実施しています。今年度も市内の福祉施設15か所において60名の中高生がボランティア活動に取り組みました。

施設分類別活動者数

高齢者施設（10か所）：39名 / 障がい者・児施設（5ヶ所）：29名

* 2施設で活動した参加者を含めています

7/12 事前研修会・活動調整会議

事前研修会では、ボランティアに関する社会福祉協議会での活動紹介と、ボランティアの意義、夏ボラの目的や心構え、活動のポイントなどについてお話をしました。そして、参加者それぞれが活動に向けた目標を立て、活動への思いを強くする機会となりました。

その後、活動調整会議では、ボランティア先の施設の方々と、日程調整や活動内容、留意事項の確認等を行いました。



私の目標 ～夏ボラに向けて～ （事前研修会のアンケートより）

- ・笑顔でコミュニケーションを取りながら、積極的に活動する
- ・積極的に行動するために、自分でよく考えながらボランティアに取り組む
- ・利用者の方をよく知ることができるよう、周りをよく見て行動したり、積極的に話しかける
- ・夏ボラを通して、障がい者の方たちの個性や特性を理解するとともに、自分に何ができののか、自己理解につなげたい
- ・夏ボラを通して新たな出会いから自分自身の成長につなげたい



活動の様子

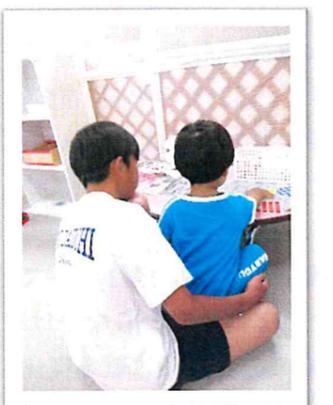
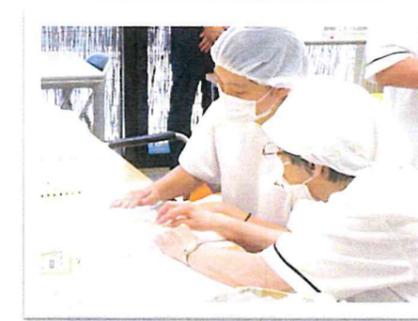
高齢者施設



利用者の方をやさしく支え、歩幅やペースもしっかりと合わせたサポートができていますね！



障がい者・児施設



みなさん、それぞれ掲げた目標に向かい、利用者の方にしっかりと寄り添った活動ができました。

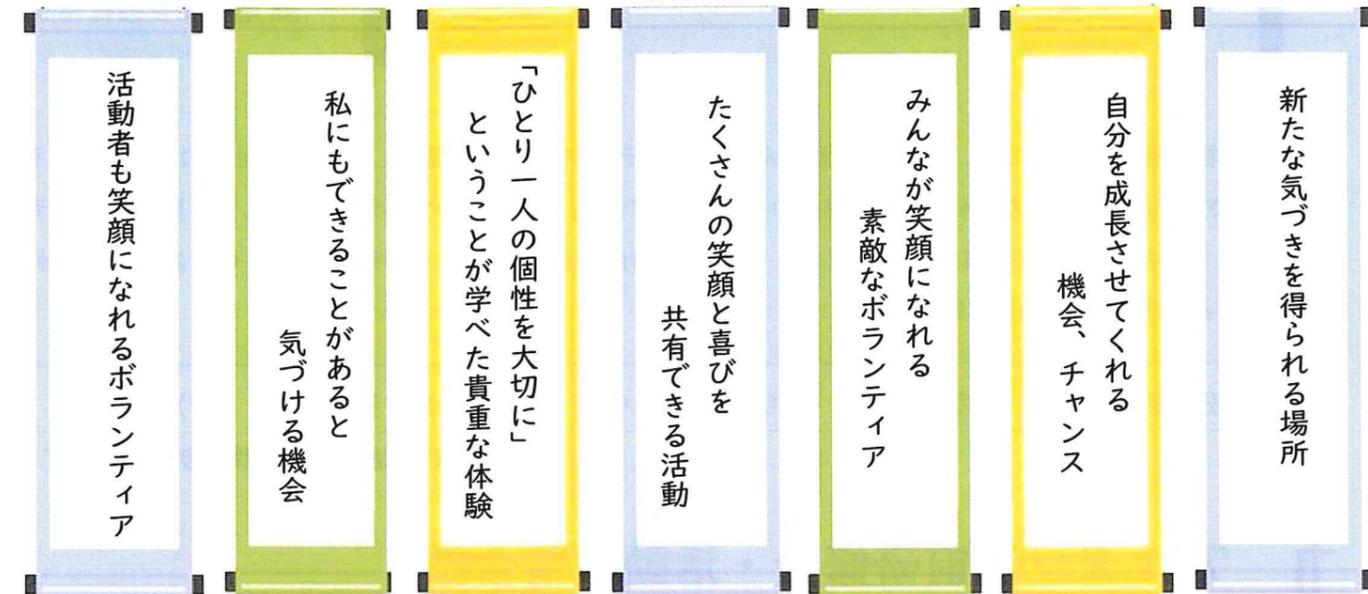
8/23 事後研修会

事後研修会では、それぞれがボランティア活動を通して利用者の方や職員の方との関わりから感じた学びや気づき、体験の前後で変わったことなど、ワークシートを活用しながら振り返り、発表を通して成果の共有をしました。

ボランティア活動を体験するだけで終わらず、しっかりと振り返ることにより有意義な体験にすることができました。



～“夏ボラ”をひと言で表すと～



感想 ～活動を終えて～



体験をしていくにつれ、認知症のある人、耳が聞こえにくい人などひとり一人違いがあり、話し方など相手によって気をつけることを把握して接することが大切だと気づくことができました。

最初は緊張してコミュニケーションが取れなかったけれど、3日間を通して「ゆっくり」「聞こえやすく」「わかりやすく」を意識して話すことができるようになり、たくさんコミュニケーションが取れるようになった。

ボランティア活動を通して、自然と周りを見て行動したり、相手の気持ちを考えて行動することができるようになった。今回の体験で、人と関わることの大切さや難しさなどを学ぶことができた。コミュニケーションを取ることの大切さや楽しさをたくさんの人に伝えたい。

人は誰でも支え合いながら生きている。その中で、自分の苦手なものは助けてもらい、自分でできることは自分でするということがわかった。

自分に自信がなかったが、夏ボラを通して段々と自信がつきとてもいい体験だった。いろいろな人との関りは、自分にとっても相手にとってもいいことなのだと感じた。

障がい者の方と関わる中で、私たちと何も変わらないけれど、私たちが勝手に壁を作ってしまうところがあるのかもしれない。これからは、その方の特性を理解し、自分から積極的にコミュニケーションを取ることが大切だと感じた。

夏ボラを通して、人の助けになることのうれしさを学ぶことができた。身の回りの小さなことからボランティアを続けたい。



～施設の方からのコメント～

できることは自分で!できることまでは自分で!難しいところを助け合う!障がいのある、なしに関係なく人はみんな誰かに助けをもらい、支え合って暮らしていることに気づけてとても良かったと思います。

利用者の方の顔と名前を覚え、やさしく言葉かけをしてくれたことは利用者のみなさんも喜ばれたことと思います。

自ら進んで利用者さんに話しかけたり、動きを見て行動する、コミュニケーションを通じて利用者さんを笑顔にすることができていました。



編集後記

今年度も福祉施設での体験活動に60名の方が参加され、また高齢・障がい分野の20施設よりご協力をいただくことができました。大変ありがとうございました。参加者それぞれに、自分ができること、すべきことを考えながら動いたり、優しい笑顔で話しかけたり、そっと手を添えて歩く姿等が見られ、とても微笑ましく温かい気持ちになりました。3日間という短期間のボランティア活動にも関わらず、多くの気づきや学びを得て、事後研修会でもしっかりと自分の言葉で伝えることができました。この夏ボラをきっかけとして、これからも自分に合ったボランティアを見つけてチャレンジしてほしいと思います。

<受入協力施設>

- ・特別養護老人ホーム ゆずり葉
- ・特別養護老人ホーム 唐松荘
- ・特別養護老人ホーム おおさ苑
- ・介護老人保健施設 くらかみ
- ・養護老人ホーム 和みの郷かなや
- ・小規模多機能ホーム ウェルネスたかお
- ・介護老人保健施設 すずらん
- ・デイサービスセンター オレンジ
- ・新見市社協中央デイサービスセンター
- ・障害者支援施設 大佐荘
- ・共同作業所 つつじ憩いの家
- ・日中一時支援 かぜのおと
- ・福祉ワーカー阿新
- ・児童発達支援事業所 もりっこ
- ・健康の森学園
- ・小規模多機能ホーム にぎとさくらの丘
- ・ケアート生き生き館新見
- ・グループホーム 花みずき
- ・新見市社協神郷デイサービスセンター
- ・哲西荘デイサービスセンター

ご協力いただき、ありがとうございました!!



人権作文

慶秀賞

ボランティアで気づいた大切なこと

大佐中一年

栗村大翔

ぼくは、今年の夏休みに三日間、知的障害者支援施設でボランティア活動に参加しました。これまで知的障害のある人と関わる機会がなく、正直などころ最初は大きな不安を抱えていました。実際

にどのような人たちがいるのか、自分にはどんなことができるのだろうか、また分かりませんでした。施設へ向かう途中、車の中で「きちんと話ができるだろうか」と緊張していました。母に「ごちそう接しただらいいか心配なだけ」と話すと「何もみんなと変わらんよ。いつものようにしたらいいよ。」と言われ、(本当かな。)と感心していました。一日目は木をほこびました。木は重く、汗をかきながら運んでいくと、隣の利用者の方が「大丈夫？」と声をかけてくれました。僕

は逆にこちらが助けなければと思っていたのに、励ましの言葉をもらって力が湧いてきました。その時に、胸の奥にあった緊張が少しずつほぐれていきました。作業を終えた後、ありがた〜と言われたときは、自分が受け入れてもらえたような気がしてとても嬉しくなりました。二日目には、利用者の方々との距離はぐっと近くなり会話も自然にできるようになっていきました。作業の合間に笑い合ったり、ちょっとした世間話をしたりと会話を楽しむ余裕ができてきました。最終日は石灰石を使った筒づくりに参加しました。初めての作業だったのでやり方が分からず戸惑っていたぼくに、一人の利用者さんが「こうするとやりやすいよ。」と教えてくれました。その温かさに心打たれました。障害のある人を助ける存在」と考えていた自分の思い込みが違っていたことに気がつきました。むしろ僕の方が助けてもらい、支えられていたのです。「また来てね。」と声をかけてもらったときは、とても嬉しかったです。初日に感じていた不安や緊張はすっかり消え、障害の有無

は逆はこちらが助けなければと思っていたのに、励ましの言葉をもらって力が湧いてきました。その時に、胸の奥にあった緊張が少しずつほぐれていきました。作業を終えた後、ありがた〜と言われたときは、自分が受け入れてもらえたような気がしてとても嬉しくなりました。二日目には、利用者の方々との距離はぐっと近くなり会話も自然にできるようになっていきました。作業の合間に笑い合ったり、ちょっとした世間話をしたりと会話を楽しむ余裕ができてきました。最終日は石灰石を使った筒づくりに参加しました。初めての作業だったのでやり方が分からず戸惑っていたぼくに、一人の利用者さんが「こうするとやりやすいよ。」と教えてくれました。その温かさに心打たれました。障害のある人を助ける存在」と考えていた自分の思い込みが違っていたことに気がつきました。むしろ僕の方が助けてもらい、支えられていたのです。「また来てね。」と声をかけてもらったときは、とても嬉しかったです。初日に感じていた不安や緊張はすっかり消え、障害の有無

Table with 2 columns: Date (16日, 17日) and Time (6.0, 8.0, 12.0, 18.0, 30). Includes location: にいみ i チャンネル and contact info: プライム・キビワイド 新見中学校小中学校音楽会...

「新見市の文化財を見て学ぼう」を掲載

今年、新見市新見町の「太池邸」が国登録文化財(建築物)になるといつられしいニュースがありました。この機会に改めて新見市には素晴らしい文化財が多くあるこ

とを知ってほしいと思い、「新見市文化財マップ」(令和4年度、市教育委員会作成)の「写真」に掲載文化財の一部を紙面で紹介します。詳しい内容と場所については二次元エードから「にいみツタール博物館」をご覧ください。



困る人を尊重し、相手の気持ちに寄り添える人になりたいと思います。僕はこの三日間のボランティアを通して、大きな気づきや多くの学びを得ることができました。この経験を忘れず、どうか生きていきたいです。

使用済み 切手 寄付 漆上国医療支援

- 11月分 谷本忠夫(下熊谷) 空輝雄(哲多町政家) 藤井肇子(下熊谷) サキキエ(足見) 西村誠(祝理士) 行政書士事務所(新見) 岡田衣料品店(哲多町本郷) 金村屋麴店(新見) 難波陽菜・風花(哲西町兵田) 三好睦恵(新見) 宮本幸子(上市)

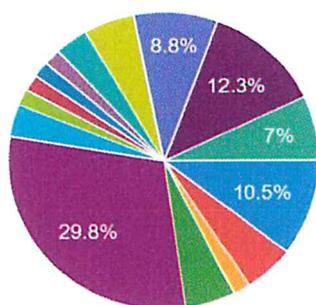
曲がりたな 知らぬ間に 身ほどの 秋の蝶々す 此の道の行 片付かぬ仕 大輪の菊の 天王の思っ 行く先の定 天高しいつ 願めて紅葉

- 井倉運輸(古安子) (上熊谷) トア一(高尾) 輝(西方) 伯尾) 井倉洞根充博(神楽) るだい会(吉) 自動車(哲) 藤井直人(松尾) 尾タクシ(木) 三共精(オート) エ(宮河内) 林植川口貞雄(上) A晴れの園

「情報連携ツールMCSの説明会」終了後のアンケート

回答者 所属

57件の回答

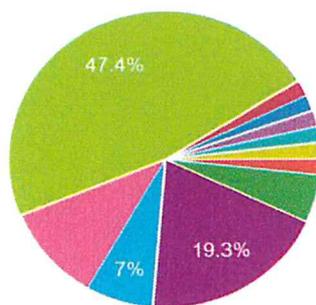


- 病院
- 診療所（医院、クリニック）
- 歯科医院
- 薬局
- 居宅介護支援事業所
- 訪問看護
- 訪問介護
- 通所リハビリ

▲ 1/3 ▼

役職

57件の回答

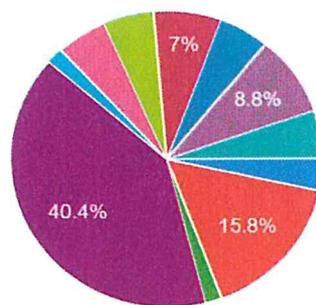


- 理事長
- 院長
- 施設長
- 取締役・代表
- 管理者
- 看護部長・総師長・師長
- その他管理職
- 施設・事業所等のスタッフ

▲ 1/2 ▼

職種

57件の回答

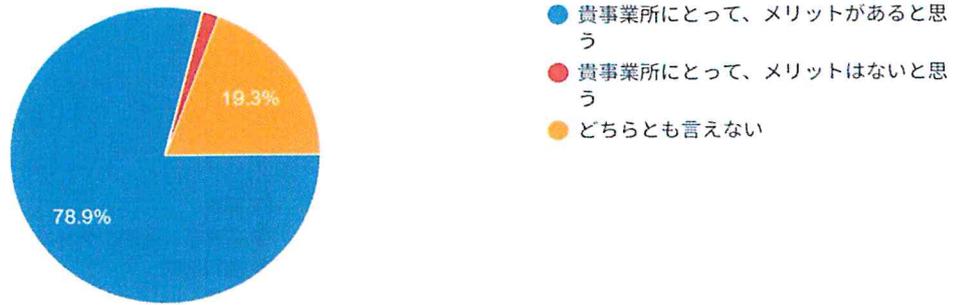


- 医師・歯科医師
- 看護師
- 訪問看護師
- リハビリ職
- 介護支援専門員
- 介護職
- 病院相談員
- 施設相談員

▲ 1/2 ▼

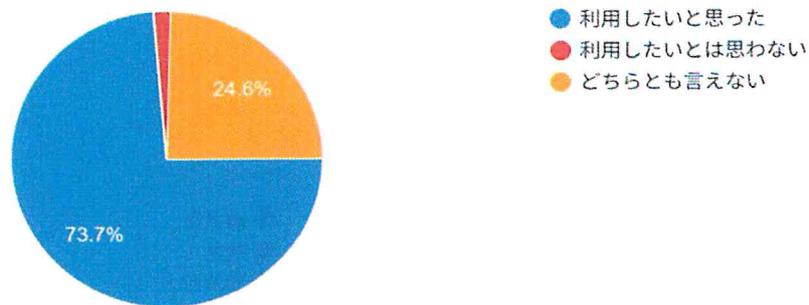
本日の説明会を聴いて、情報連携ツールの利用についてどのように感じましたか？

57件の回答



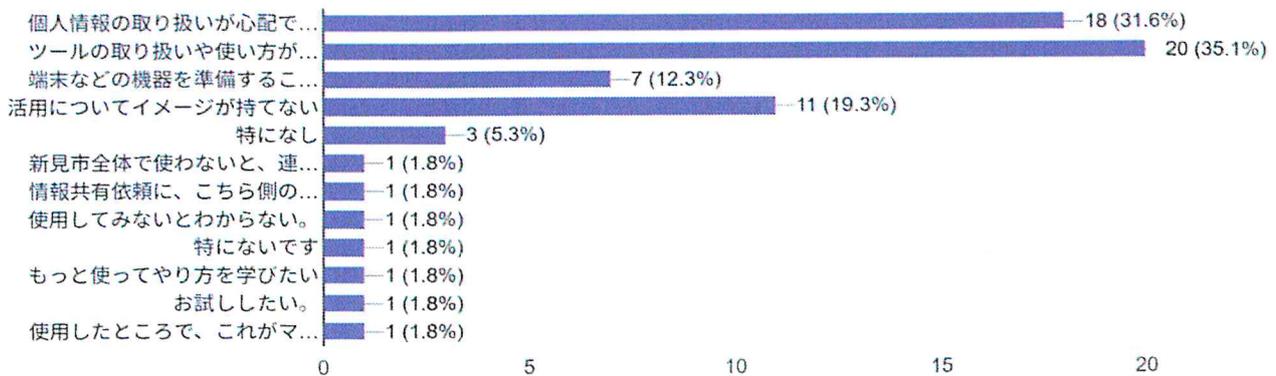
情報連携ツールの利用について

57件の回答



情報連携ツールの使用で心配なことなど（複数回答可）

57件の回答



MSCについてもっと知りたいことがありましたらお書きください

7件の回答

リアルタイムの動画を見ながら話し合いができるのか？

グループの作り方など

Zoom中、忙しい時間で少しも聞けませんでした。

特にありません

患者グループの作り方

特にないです。

患者様の登録30名までとありますが、支援が終了になった患者様の登録の削除は誰がするのですか？削除したら情報は見られなくなりますよね。

MCS以外の情報連携ツールについて、情報等ありましたらお教えください

2件の回答

特になし

特にありません

情報連携ツールの活用についてご意見がありましたらご記入ください

7件の回答

短期だと活用できそうだから、特養だと活用の機会が少なそうに感じる。

色々な事業所と情報連携をするにあたり、便利なツールだと思いました。全体でのやり取りもでき、個別でのやり取りもできるのでどちらにもメリットがあると思いました。試験的に利用してみたいと思いました。

もともと顔の見える関係ができていたので、情報連携ツールもうまく活用できると思います。

どれくらいの事務所が参加するかによります。参加する事務所としない事務所があると逆に二度手間になるような気がします。多くの事務所が参加するようであれば、参加したいと思います！

まだわかりません。

特にありません

新見市内の全事業所が入れば連携しやすいと思います。

◆「情報連携ツールの使用で心配なことなど(複数回答可)」のグラフで消えていて読めない項目は下記のとおりです。

- ・個人情報の取り扱いが心配である
- ・ツールの取り扱いや使い方が難しそう。
- ・端末などの機器を準備することが困難である。
- ・活用についてイメージが持てない。
- ・特になし
- ・新見市内全体で使わないと、連絡の手段が増えるだけになってしまうのではないか。
- ・情報共有依頼に、こちら側の対応が迅速に対応できるかが心配である。
- ・使用してみないとわからない。
- ・特にないです。
- ・もっと使ってやり方を学びたい。
- ・お試したい。
- ・使用したところで、これがマストになるのか。

◆質問の回答をエンブレース株式会社からいただきました。

・「リアルタイムの動画を見ながら話し合いができますか？」

について、ビデオ通話機能がございますので、保存された動画を画面共有したりビデオをオンにしてリアルタイムの状況を共有することができるかと存じます。ただし、ビデオ通話機能はグループの参加メンバーにビジネスプランのユーザーがいないと使用できません。

※ビデオ通話機能はブラウザ版のみの機能となります。

【ビデオ通話機能】

https://about.medical-care.net/html/usersguide/download/pdf/mcs_video_call.pdf

・「患者様の支援が終了し削除した後、削除された情報は見られなくなりますか？」

について、保管済みの患者利用者グループも閲覧は可能でございます。ただし、2023年12月7日20時以前に作成された患者利用者グループの場合、グループの管理者が閲覧権限を編集する必要があります。編集することでグループの参加メンバーは保管済みの患者利用者グループの内容を見ることができます。

【患者情報の閲覧/編集権限が知りたい】

<https://support.medical-care.net/hc/ja/articles/25693008100889>